

常任委員会レポート

令和3年度一般・特別・企業会計の各決算をはじめ、条例の一部改正などの議案を、各常任委員会で審査しました。ここでは、その一部を紹介します。

総務委員会

令和3年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定 ～協働共生推進費～

Q 昨今のカーボンニュートラルへの対応のなかで、ソーラーLEDライトへの切替えについての調査研究が必要と考えるがどうか。

A ソーラーLEDライトへの切替えについては、市内の設置状況は把握していないが、必要性もあると認識しているため、設置費用や維持管理などの現状を調査するとともに、自治会の負担も考え、今後、環境政策課と連携して庁内で検討していきたい。

令和3年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定 ～徴税费～

Q 令和3年度から開始されたスマートフォンアプリを利用した納付件数をどう捉えているか。

A 利用者としては扱いが簡単であるため利便性の向上につながっている。クレジットカード払いを平成29年度から導入しているが、その件数よりスマートフォンアプリの件数が、どの税目を見ても多い状況であることから、かなり使いやすいのではと感じているが、今年度の状況も見ながら、もう少し分析をしていきたい。

民生文教委員会

令和4年度袋井市一般会計補正予算(第4号) ～予防費～

Q オミクロン株対応の2価ワクチンの接種が今後、開始される。ファイザーとモデルナのワクチンがあると報道されているが集団接種と個別接種でどのように使い分けるのか。またインターネットで予約する際、希望のワクチンを予約できるようにどう対応していくのか。

A これまでと同様に個別接種ではファイザーを、集団接種ではモデルナとファイザーを使用する予定だが、個別接種の医療機関に確認しながら決めていく。また、今後は従来のワクチン接種とオミクロン株対応の2価ワクチンの接種が重なるため、接種希望のワクチンを確認しながらインターネットでの予約が進められるように工夫をしていく。

令和3年度袋井市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定

Q 出産育児一時金はこれまでも増額されてきて、現在は一人42万円となっている。近年は出産に係る費用が高額化してきていると聞くと、市内の現状として出産費用は42万円で収まっているのか。

A 分娩内容によっては、42万円を超える方もいる。現在、国で出産育児一時金の増額を検討しているので、国の制度に沿った対応をしていきたい。

建設経済委員会

令和3年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定 ～じん芥処理費～

Q 古紙等資源集団回収事業奨励交付金は、何箇所かで集めていて、対象のグループや内訳はどうか。

A この交付金は、古紙等資源回収を行う団体にあらかじめ御登録いただき、資源回収をしていただくと、1kg当たり4円を交付するものであり、令和3年度はPTAなどを中心に47団体に登録いただいた。回収の内訳は、新聞紙が約33万kg、段ボールが約11万6000kg、雑誌類が約13万9000kg、古布が約1万6000kgである。資源化の精神を広げるため、今後もPRをして、この制度を活用いただけるようにしていきたい。

令和3年度袋井市下水道事業会計決算認定

Q 汚水処理にかかる費用は、使用料で賄うのが健全だと思うが、どのように改善、対応していくのか。

A 公共下水道は、水をきれいにするための微生物活性化の電気代などさまざまな費用が必要であり、使用料の想定では170～180円くらい必要。今年4月1日から使用料を平均1㎡当たり約125円に改定したが、依然として不足分を一般会計からの繰入金で賄っている。使用料については令和8年度の改定に向けた袋井市水道料金等懇話会で協議を行う予定。市単独の経営努力では非常に厳しい状況であり、料金の収納などを他自治体と共同で行うことについて、広域的に検討している。